



映画を通じた今後のつながり

岐阜新聞の連載『東北沿岸600キロ 震災報告』(40回)と『3.11の証言 心に留める東日本大震災』(30回)の2種類を小冊子(各300円)にまとめ、全国で約2万冊を売り歩いた。企業なども、冊子の販売協力をしてくださり、資金集めや活動を広めてくれた。経費を除いた売り上げを、東北への支援や、活動の資金源にしてきた。今後は、映画「家族の軌跡 3.11の記憶から」の上映売り上げを資金の柱に考えている。そのうちの50%を『東松島市東日本大震災義援金』や小野駅前応急仮設住宅で製作されている『おのくん』の援助に使われる予定。

この映画を上映したいと思ったら

上映料金

自主上映は、お一人500円。
映像ソフト(ブルーレイ、DVD)の貸し出し基本料金5,000円。(何人でも同額です)何人からでも借りられます。

例: 5人の場合 5000円+(500円×5人)=7500円 一人当たり1500円
30人の場合 5000円+(500円×30人)=20000円 一人当たり667円

人数は自主申告制です。会場など借りる場合の資金や雑費は、映画上映に上乗せしていただいても結構です。

物品販売

同時に、物品販売もお願いしています。※販売手数料は出ません。ご了承ください。

冊子1『東北沿岸600キロ 震災報告』300円(税込) 冊子2『3.11の証言 心に留める東日本大震災』300円(税込)
(冊子1/2に関して、経費(約100円)を除いた残りが、義援金や必要経費になります)
『津波の夜に』(小学館) 1620円(税込)

上映方法

パソコンからの出力ではなく、ブルーレイまたはDVDデッキからの出力をお願いします。プロジェクター、スクリーン、スピーカーをご用意していただくか、家族でご覧になる場合は、ご自宅のテレビでの上映でも、デッキにソフトを入れていただくで再生されます。機材の貸し出しは行っておりません。

申し込み

下記にある1か2からお選び下さい。義援金や寄付金の行き先がそれぞれ変わります。

1 photo_nobuo@yahoo.co.jp からお申し込みの方は、東松島市東日本大震災義援金(孤児・遺児)に振り込まれます。

2 info@socialimagine.com または **0225-90-3359(FAX)**

からお申し込みの方は、小野駅前仮設住宅で製作されている『おのくん』&『空の駅プロジェクト』への資金に振り込まれます。

※『おのくん』とは、仮設住宅に暮らす人たちが産み出した靴下で作ったぬいぐるみです。
<http://socialimagine.wix.com/onokun>



上映日時、代表者名、住所、電話番号、メールアドレスをご記入の上、返却予定日も書き込んでください。映像素材や物販など着払いでの発送となります。到着荷物の時間指定などが必要な方は、それも書き加えてください。

※すぐに対応できない場合もあります。余裕をもってご予約ください。

写真家/監督
大西暢夫プロフィール



1968年岐阜県揖斐郡池田町育ち。
18歳で上京し、東京総合写真専門学校卒業後、写真家/映画監督の本橋成一氏に師事。
1997年にフリーカメラマンに。25年間の東京での暮らしから、2010年11月より故郷の岐阜県揖斐郡池田町の古民家で暮らす。

《主な著書》

1『僕の村の宝物』
(情報センター出版局)

2『分校の子どもたち』
(カタログハウス)

3『山里にダムがくる』
(共著:山と溪谷社)

4『おばあちゃんは木になった』
(ポプラ社)

第8回日本絵本賞/
日本図書館協議会 選定図書

5『ひとりひとりの人』
～僕が撮った精神科病棟～
(精神看護出版)

日本図書館協議会 選定図書

6『花はどこから』
(共著:福音館書店)

7『水になった村』
(情報センター出版局)

8『徳山村に生きる』
(農文協)

9『アウトサイダーアートの作家たち』(角川学芸出版)

10『ふた にく』(幻冬舎)

第58回小学館児童出版文化賞/
第59回産経児童出版文化賞 大賞
ミツバチ文庫(山田養蜂場)

11『糸に染まる季節』
(岩崎書店)

12『みつばちとともに』
(農文協)

児童福祉文化賞(5冊セット受賞)/
ミツバチ文庫(山田養蜂場)

13『東北沿岸600キロ 震災報告』(自費出版)

14『3.11の証言 心に留める東日本大震災』(自費出版)

15『津波の夜に～3.11の記憶～』(小学館)

日本図書館協議会 選定図書

16『しいたけとともに』(農文協)

17『ここで土になる』(アリス館)

・映画監督作品 ドキュメンタリー映画
『水になった村』 2007年製作
(配給:ポレポレタイムス社 第16回地球環境映像祭最優秀賞)

facebookでも情報を公開しています。

「facebook 大西暢夫」で検索するか、下のアドレス又は右のQRコードからアクセスしてください。

fb.com/nobucyann/



命日は揃って3月11日。
これが東北沿岸部の現実だった。

家族の軌跡

3.11の記憶から

大西暢夫 監督作品

2016年製作/本編90分/16:9/カラー エンディング音楽:沢 知恵
【山形国際ドキュメンタリー映画祭2015 上映作品】